



感染性胃腸炎が流行中 手をよく洗いましょう！

平成 31 年 1 月 8 日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(平成 30 年第 52 週分・12 月 24 日～12 月 30 日)

(平成 31 年第 1 週分は平成 31 年 1 月 10 日(木)発行予定です。)

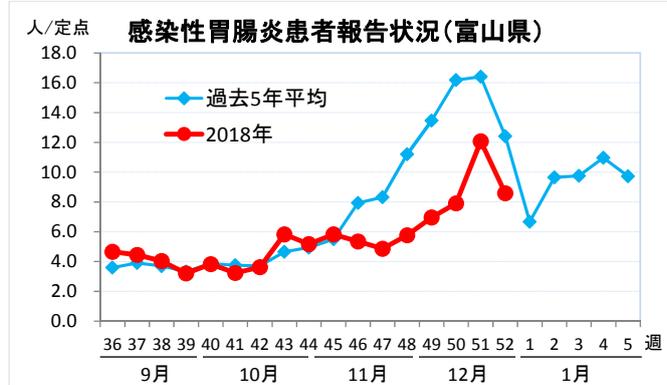
《インフォメーション》

●感染性胃腸炎

今週、県内の感染性胃腸炎の報告数が定点医療機関あたり 8.59 人となりました。

感染性胃腸炎は、細菌またはウイルスなどの病原体による下痢、おう吐を主症状とする感染症の総称で、毎年冬に流行します(図参照)。今後しばらくは報告数が多い状態が続くと思われますので注意が必要です。

冬季に発生する感染性胃腸炎の多くは、ノロウイルスによるものであると推測されています。ノロウイルスは手指や食品などを介して経口感染します。高齢者施設や保育所等での集団感染、飲食店等での食中毒には特に気をつける必要があります。患者の便や吐ぶつには大量のウイルスが存在するため、取扱いには十分注意しましょう。また、症状が回復しても便にウイルスが出る場合があります。次の事項に注意して、家庭内や施設内での感染を予防しましょう。



- 食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗う。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない。
- ふん便や吐ぶつは、マスク・手袋を着用し塩素系消毒剤等で処理し、感染を広げない。
- 加熱が必要な食品はしっかり加熱(中心部が 85℃～90℃で 90 秒以上)して食べましょう。

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 6 件 (①第 51 週診断分：60 歳代、男性 ②20 歳代、男性 ③60 歳代、男性 ④⑤ともに 70 歳代、女性 ⑥90 歳代、男性)

五類感染症 アメーバ赤痢 1 件 (50 歳代、女性、腸管アメーバ症)
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 件 (80 歳代、男性)
急性脳炎 1 件 (10 歳未満、男性)
侵襲性肺炎球菌感染症 3 件 (①第 51 週診断分：50 歳代、女性
②第 51 週診断分：80 歳代、男性 ③50 歳代、女性)

梅毒 1 件 (40 歳代、男性、晩期顕症梅毒)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週 (増減)	先週
1 位	感染性胃腸炎	8.59 (↓)	12.07
2 位	インフルエンザ	7.38 (↓)	8.21
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.41 (↓)	1.72
4 位	RS ウイルス感染症	1.17 (↑)	1.14
5 位	咽頭結膜熱	1.07 (↓)	1.34
6 位	流行性角結膜炎	0.57 (↑)	0.43

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第52週 平成30年12月24日～平成30年12月30日）

分類	疾患	今週報告分（第52週）						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核		1	1	1	2	5	12	15	57	24	92	200	
三類感染症	細菌性赤痢										1		1	
	腸管出血性大腸菌感染症							3	4	5	3	11	26	
	パラチフス											1	1	
四類感染症	E型肝炎							1		1	1		3	
	A型肝炎											4	4	
	つつが虫病							3				1	4	
	デング熱										3		3	
	レジオネラ症							4	1	8	4	25	42	
五類感染症	アメーバ赤痢					1	1				1	2	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症				1		1			6		13	19	
	急性弛緩性麻痺										1		1	
	急性脳炎			1			1	2		2	1	2	7	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							4	1	7	2	6	20	
	後天性免疫不全症候群											1	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		2	1	4	9	
	侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	3	3	10	4	19	39	
	水痘（入院例）							2		2	1	3	8	
	梅毒					1	1			1		14	15	
	播種性クリプトコックス症											3	3	
	百日咳								2			9	12	
	風しん									4	1	6	11	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	32	62	67	46	147	354	2,285	2,037	3,659	2,588	5,949	16,518
			4.57	12.40	5.15	6.57	9.19	7.38						
RSウイルス感染症		2	3	12	8	9	34	86	54	328	153	787	1,408	
		0.50	1.00	1.50	2.00	0.90	1.17							
咽頭結膜熱		4	5	17	4	1	31	264	88	397	83	364	1,196	
		1.00	1.67	2.13	1.00	0.10	1.07							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		9	4	8	2	18	41	189	165	694	249	961	2,258	
		2.25	1.33	1.00	0.50	1.80	1.41							
感染性胃腸炎		39	34	71	38	67	249	1,460	1,025	1,810	394	3,407	8,096	
		9.75	11.33	8.88	9.50	6.70	8.59							
水痘				2		14	16	23	10	110	64	175	382	
				0.25		1.40	0.55							
手足口病			1	5		4	10	32	32	150	209	199	622	
			0.33	0.63		0.40	0.34							
伝染性紅斑				1	2	2	5	7	4	106	49	56	222	
				0.13	0.50	0.20	0.17							
突発性発しん		1	1	4	3	3	12	67	55	238	67	176	603	
		0.25	0.33	0.50	0.75	0.30	0.41							
ヘルパンギーナ		2					2	142	117	333	106	286	984	
		0.50					0.07							
流行性耳下腺炎								8	11	22	5	48	94	
急性出血性結膜炎										2	14	1	17	
流行性角結膜炎		1	2	1			4	5	20	29	7	8	69	
		1.00	2.00	0.50			0.57							
細菌性髄膜炎													5	5
無菌性髄膜炎													2	2
マイコプラズマ肺炎				1			1	10	4	7	6	12	39	
			1.00			0.20								
クラミジア肺炎										1	3	4		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							3		4	2	7	16		
インフルエンザによる入院患者（*）	1		2	2	2	7	2		3	10	11	26		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

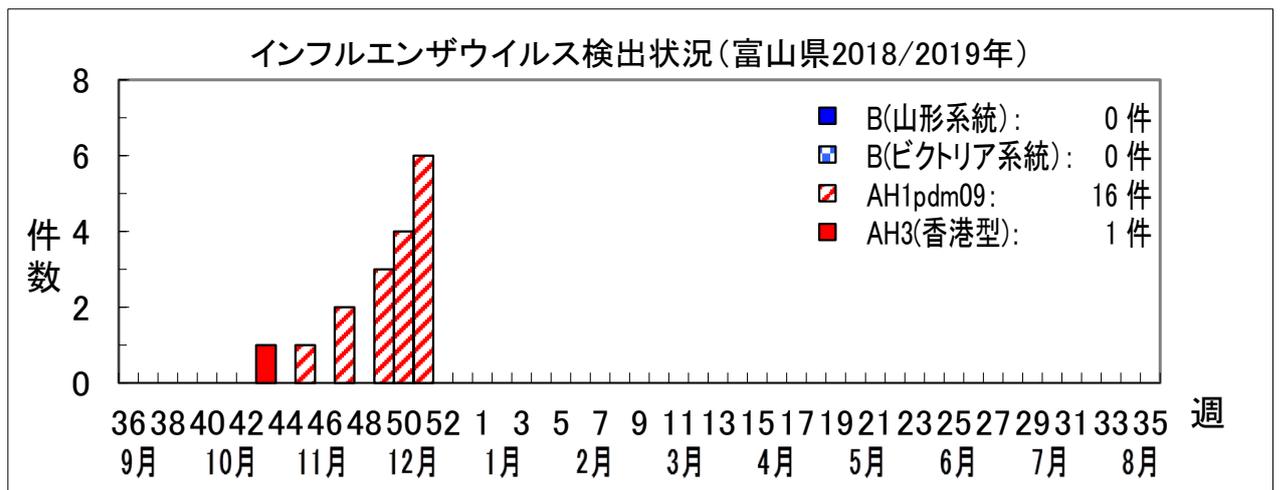
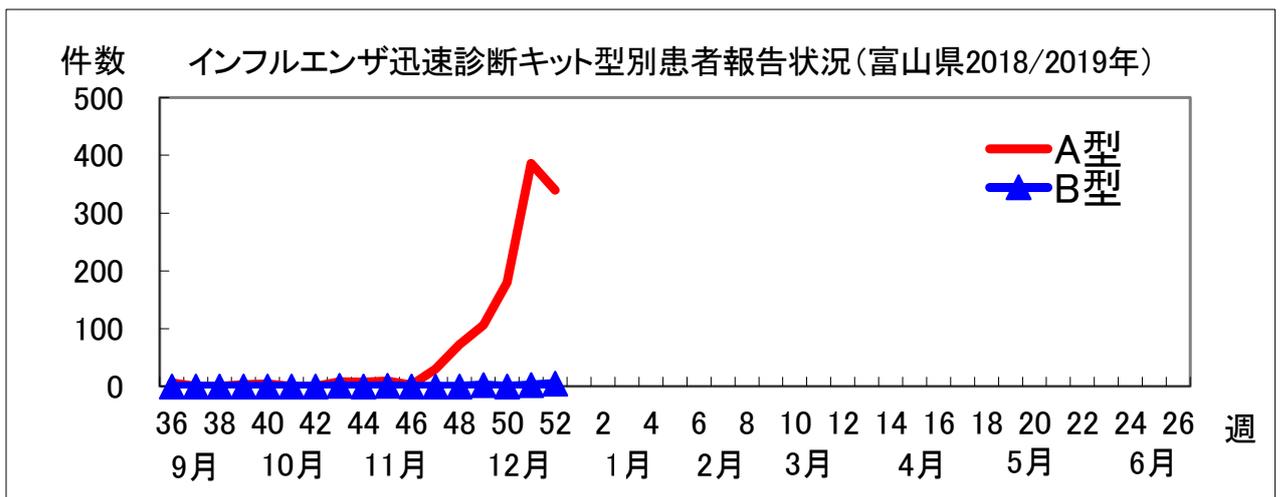
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が96.0%となっています。

第52週(12/24~12/30)：富山県 7.38人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	32	0	0	32
中部	5 / 5	58	2	2	62
高岡	11 / 13	62	0	5	67
砺波	7 / 7	45	0	1	46
富山市	13 / 16	143	3	1	147
富山県	42 / 48 ^{※1}	340	5	9	354
富山県累計(2018年36週~)		1,153	11	25	1,189

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が42か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





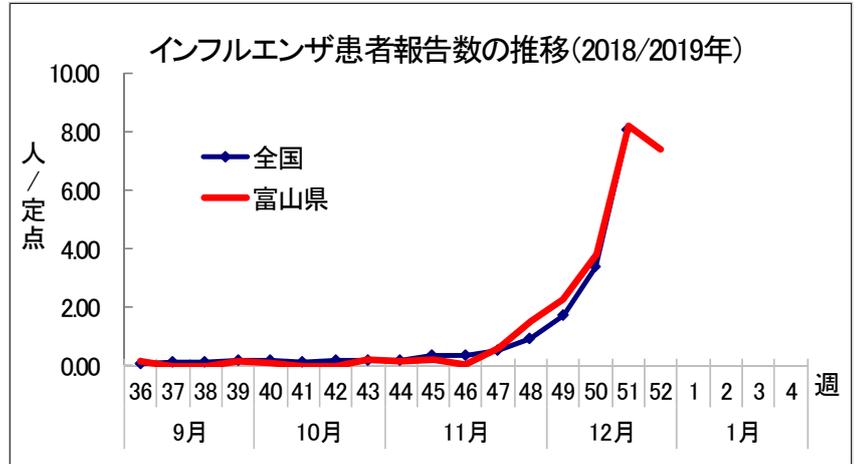
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 52 週 (12/24~12/30) : 富山県 7.38 人/定点

新川 HC (4.57)、中部 HC (12.40)、高岡 HC (5.15)、砺波 HC (6.57)、富山市 HC (9.19)

県内は第 48 週に定点医療機関あたり 1 人を超え、流行期に入りました。

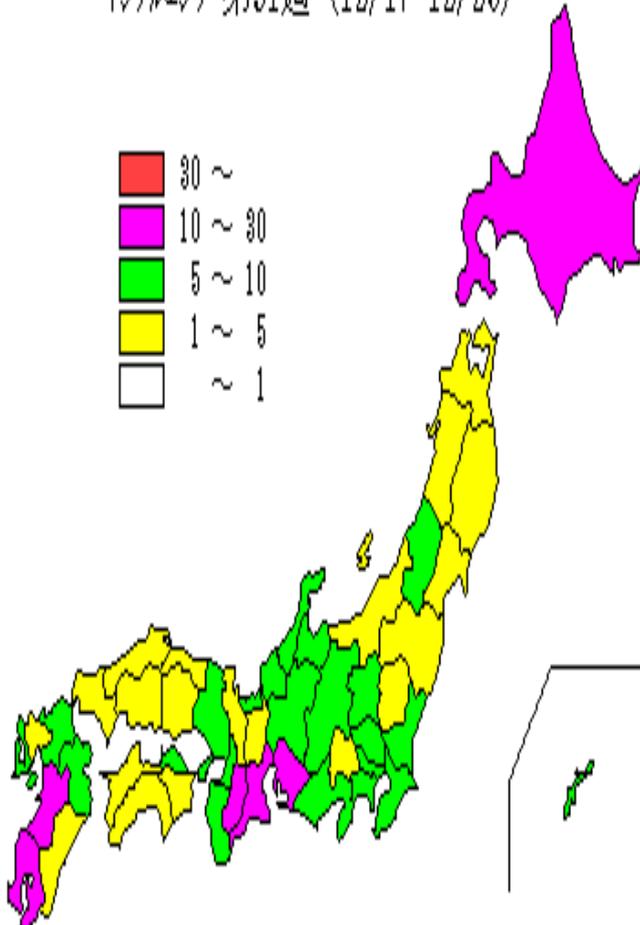
今後、しばらくは流行が継続することが予想されます。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 51 週 (12/17~12/23)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 8.05 人となり、前週の 3.36 人より増加しました。47 都道府県すべてで前週より増加しています。

インフルエンザ第51週 (12/17-12/23)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	22.69	滋賀県	3.64
青森県	2.03	京都府	3.79
岩手県	2.67	大阪府	9.26
宮城県	2.93	兵庫県	7.11
秋田県	3.74	奈良県	10.51
山形県	5.38	和歌山県	5.16
福島県	2.04	鳥取県	3.62
茨城県	5.63	島根県	1.71
栃木県	2.33	岡山県	3.48
群馬県	5.25	広島県	2.94
埼玉県	7.34	山口県	3.54
千葉県	8.66	徳島県	2.43
東京都	7.79	香川県	8.55
神奈川県	8.40	愛媛県	3.57
新潟県	4.83	高知県	4.92
富山県	8.21	福岡県	9.14
石川県	7.88	佐賀県	4.21
福井県	5.17	長崎県	7.69
山梨県	4.66	熊本県	11.10
長野県	6.38	大分県	7.26
岐阜県	9.24	宮崎県	4.10
静岡県	5.45	鹿児島県	11.14
愛知県	23.64	沖縄県	6.43
三重県	12.18	全国	8.05